

## 第10回 東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会議事要録

日 時 平成27年3月13日（金） 10時00分～11時20分

場 所 東京工業大学すずかけ台キャンパス 大学会館2階 集会室1

出席者 西森秀稔、岸本喜久雄、小田原修、矢野豊彦、坂井悦郎、高梨弘毅、片山聖二、  
佐々木高義、高田雅介、谷口 元、鈴木紀雄、木村茂行 の各委員

所内説明者 伊藤 満（応用セラミックス研究所長）  
笠井 和彦（副所長，共同利用・研究支援室長，建築物理研究センター長）  
川路 均（安全管理支援室長）  
細野 秀雄（セキュアマテリアル研究センター長）  
若井 史博（特別教育研究費プロジェクト拠点リーダー）

### 配付資料

- 別紙1. 東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会規程
- 別紙2. 東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会委員名簿
- 別紙3. 第7回東京工業大学先端無機材料共同研究拠点運営委員会議事要録（案）
  - 1-1. 平成26年度応用セラミックス研究所教員人事について  
（平成26年10月～平成27年4月【予定】）
  - 1-2. 応用セラミックス研究所教員組織（平成27年3月1日現在）
  - 2-1. 外部資金受入状況について（平成22年度～平成26年度）
  - 2-2. 平成26年度応用セラミックス研究所「受託研究」受入一覧
  - 2-3. 平成26年度応用セラミックス研究所「民間等との共同研究」受入一覧
  - 3-1. 平成26年度共同利用研究受入研究者データ及び出張状況について
  - 3-2. 平成27年度共同利用研究応募状況
  - 3-3. 平成27年度概算要求事項概要（先端無機材料共同研究拠点の形成）
  - 4. 国際会議・ワークショップ・講演会開催状況
  - 5. 平成26年度学術講演講師
  - 6-1. 応用セラミックス研究所受賞者一覧
  - 6-2. 2014年パブリシティ
  - 6-3. 研究成果が新聞・テレビなどへ取り上げられた件数の推移
  - 7. 応用セラミックス研究所 特許出願・登録状況一覧
  - 8. セキュアマテリアル研究センター活動報告（平成26年3月～平成27年2月）
  - 9. 建築物理研究センター活動報告（平成26年9月～平成27年3月）
- 10-1. 全国共同利用附置研究所連携事業「特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト」の活動報告
- 10-2. 平成27年度概算要求事項概要（特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト）

## 席上配布資料

- 6 大学連携プロジェクトニュース 2015.03 Vol.04 No.2
- 平成26年度連携プロジェクト研究成果報告書
- 構造工学フロンティア国際会議案内

## 定足数の確認

運営委員総数13名，公務欠席1名，定足基準数12名，定足数6名，出席者12名で成立

## 挨拶

議事に先立ち、木村議長の挨拶に引き続き、各委員から挨拶があった。

## 議事要録の確認

議長から、前回議事要録（案）について説明があり、これを承認した。

## 議 題

### 1. 教員人事について

伊藤所長から、資料1-1～1-2に基づき、平成26年9月1日から平成27年4月1日（予定）の採用者（予定含む）、退職予定者、転出予定者について説明があった。

### 2. 受託研究及び民間等との共同研究等の受入状況について

伊藤所長から、資料2-1～2-3に基づき、平成26年度の外部資金受入状況として、平成22年度からの5年間の推移及び、昨年度と比較した増減について説明があった後、民間等との共同研究の受入額が昨年度と比較して大幅に減少している理由等について質疑応答が行われた。

### 3. 共同利用研究について

笠井共同利用・研究支援室長から、資料3-1に基づき、平成26年度共同利用研究受入研究者データの内訳及び共同利用研究者の出張状況について説明があり、資料3-2に基づき、平成27年度共同利用研究申請状況、研究種目等の説明があった。また、資料3-3に基づき、平成27年度概算要求事項の運営費交付金所要額の内訳等について説明があった後、共同利用研究の応募に対する審査の観点等について質疑応答が行われた。

### 4. 国際会議・ワークショップ・講演会開催状況について

伊藤所長から、資料4に基づき、平成26年度8月以降の国際会議・ワークショップの開催状況及び、応用セラミックス研究所、建築物理研究センター、セキュアマテリアル研究センターそれぞれの講演会開催状況について説明があった。

### 5. 学術講演講師について

伊藤所長から、資料5に基づき、平成26年度の学術講演講師一覧について説明があった。

### 6. 研究成果等の社会広報について

伊藤所長から、資料6-1～6-3に基づき、教職員及び学生の受賞状況，研究成果が新聞・テレビなどへ取り上げられた件数の推移等について説明があった。

7. 特許出願・登録状況について

伊藤所長から、資料7に基づき、国内及び外国の特許出願・登録について、年度別に大学全体と比較した状況の説明があった後、質疑応答が行われた。

8. セキュアマテリアル研究センター活動報告について

細野センター長から、資料8に基づき、同センターの活動報告として、センターの人員、研究成果及びセンターのかかえる諸問題について説明があった後、同センターの今後の在り方等について、質疑応答が行われた。

9. 建築物理研究センター活動報告について

笠井センター長から、資料9に基づき、平成26年9月からの活動報告として、センターの人員、各研究者の主なテーマ等の説明及び、講演会・シンポジウムの開催状況等の説明があり、引き続き、席上配布資料に基づき、平成27年3月18日～19日に開催を予定している「構造工学フロンティア国際会議」の概要について説明があった。

10. 全国共同利用附置研究所連携事業「特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト」の活動状況について

若井拠点リーダーより、6大学連携が始まった経緯及び、資料10-1～2に基づき、平成26年度のプロジェクトの活動報告として、平成26年度の取組みの概要説明及び、平成27年度概算要求事項の概要について説明があった。また、本プロジェクトは来年度が最終年度となる為、次期の申請に向けて準備を進めている旨説明があった後、質疑応答が行われた。

以上